

科目名 (科目番号)	総合演習Ⅱ (時間割参照)	教員名	診療放射線 学科教員	学科等	診療放射線	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	演習	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	総合演習Ⅰで学んだ内容を基本に,これまで診療画像技術学,核医学検査技術学,放射線治療技術学,放射線安全管理学および医療安全管理学で学んだ事柄について,様々な画像診断,放射線治療,放射線の管理および医療安全に関する理解を深めるための総復習を行う。授業は演習および講義のハイブリッド方式とする。							
目的・目標	目的:本講義までに終了している国家試験関連科目について総復習を行い,解を深める。 目標:さらに発展した知識を取り入れるための準備とこれまでに得た知識の確認をする。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	総合演習Ⅰの総復習		到達目標:総合演習Ⅰで実施した内容の理解を深める。 学習内容:総合演習Ⅰで実施した内容の総復習をする。				
	2	診療画像検査学(武井)		到達目標:MRI装置,MRI検査およびMRI画像解剖,超音波装置,超音波検査,超音波画像解剖,眼底カメラ検査および眼底画像解剖を理解する。 学習内容:MRI装置,MRI検査およびMRI画像解剖,超音波装置,超音波検査,超音波画像解剖,眼底カメラ検査および眼底画像解剖を学習する。				
	3	核医学検査技術学(1)(清水)		到達目標:放射性医薬品および核医学検査機器を理解する。 学習内容:放射性医薬品および核医学検査機器を学習する。				
	4	核医学検査技術学(2)(根本)		到達目標:核医学検査および核医学治療を理解する。 学習内容:核医学検査および核医学治療を学習する。				
	5	放射線治療技術学(1)(永井)		到達目標:放射線治療装置および吸収線量の評価を理解する。 学習内容:放射線治療装置および吸収線量の評価を学習する。				
	6	放射線治療技術学(2)(永井)		到達目標:放射線治療技術を理解する。 学習内容:放射線治療技術を学習する。				
	7	放射線安全管理学(福士)		到達目標:放射線防護の基本概念,関係法規および放射線管理の目的と方法を理解する。 学習内容:放射線防護の基本概念,関係法規および放射線管理の目的と方法を学習する。				
	8	医療安全管理学(武井)		到達目標:放射線防護の基本概念,関係法規および放射線管理の目的と方法を理解する。 学習内容:放射線防護の基本概念,関係法規および放射線管理の目的と方法を学習する。				
成績評価の方法・基準	小テスト(50%)＋期末試験(50%)で評価を行う。(対面・オンライン共通)							
教科書	2027年版 診療放射線技師国家試験 完全対策問題集:精選問題・出題年別			オーム社 (編集)		オーム社 (2026年5月刊行後購入してください)		
参考図書	これまで使用してきた各科目の教科書							
教員からのメッセージ	国家試験科目の中でも専門的な内容となる科目です。各自が問題の解答を導き出せるよう演習形式の授業を主体し,総括的な講義も併せて実施する。講義を受ける際には,これまで学習してきた内容を十分復習をしてから臨んでください。 変則的な時間割となるため、授業日程等はクラスルームにて随時お知らせします。							